

仲間とともに 楽しく活動しよう

— 児童委員活動の実践事例 —



仲間とともに 楽しく活動しよう

—児童委員活動の実践事例—

はじめに	1
I 子ども・子育て家庭をとりまく環境と課題	2
1 子ども・子育て家庭をめぐる状況と課題について	2
II 児童委員活動の実践事例	5
1 「地域における児童委員・主任児童委員の活動等の現状と課題に関する調査研究」結果から見えたこと	5
2 事例	8
事例 1	
赤ちゃんルーム「チルチル・ミチル」【名古屋市天白区】	8
事例 2	
安中市乳幼児宅訪問事業【群馬県安中市】	12
事例 3	
SNS でつなぐ主任児童委員活動－親子支援－【滋賀県湖南市】	16
事例 4	
家庭訪問型子育て支援「ホームスタート・さくら」【千葉県佐倉市】	20
事例 5	
土曜日の子どもの居場所づくり「香住っ子ひろば」【福岡市東区】	24
事例 6	
退所児童無料学習塾「ひだまり」【大阪市東成区】	28
事例 7	
① 川上小学校サマースクール【熊本市北区】	32
② 乳幼児と中学生のふれあい交流会【熊本市北区】	34
事例 8	
早通子ども食堂「ひまわり食堂」【新潟市北区】	36
3 実践事例のまとめと考察	40

はじめに



少子化や核家族化、共働き家庭の増加・地縁関係の希薄化等を背景に、子どもの育ちや子育てをとりまく状況は、複雑化・多様化しています。とくに、平成30年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数は約16万件と年々増加しており、幼い子どもの命が奪われる痛ましい事件も後をたちません。令和元年6月に成立した「児童福祉法等の一部を改正する法律」に基づき、親権者等が児童のしつけに際して体罰を加えてはならないことが法定化され、令和2年4月から施行されました。国は体罰によらない子育てを積極的に周知しています。

全民児連は令和元年9月に「児童虐待防止緊急アピール2019」を採択し、子どもの命を守り、人権を尊重し、子どもの健やかな成長・発達を保障するために、民生委員・児童委員は、地域住民、関係機関とともに児童虐待防止を推進することを宣言しました。アピールで示した志を胸に、さまざまな人びとと力を合わせ「地域の子育て応援団」として子育て支援や見守り活動に取り組みましょう。

さて、昨年度、全国社会福祉協議会は厚生労働省の補助金（2019年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）を受けて「地域における児童委員・主任児童委員の活動等の現状と課題に関する調査研究」（以下、調査研究）を実施しました。

本書『児童委員活動の手引き46集』は、調査研究の成果をもとに提案した10の提言と、8つの実践事例を再編集して解説し、ご紹介します。わがまちならではの児童委員活動の推進に向けて、日々の委員活動にお役立てくだされば幸いです。

新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止の観点から「新しい生活様式」を踏まえ試行錯誤しながら取り組んでいる、あるいは活動再開に向けて検討を重ねている状況ではありますが、民生委員・児童委員一人ひとりが地域の「子育て応援団」として取り組む、子育て、子育てを応援するまちづくりを期待します。

終わりに、本書を作成するにあたりご協力くださった明治学院大学 松原康雄名誉教授、東洋大学 泉谷朋子助教、実践事例をご提供いただいた民児協関係者に厚く御礼申し上げます。

令和2年9月

全国民生委員児童委員連合会

会長 得能金市